

⑤紅茶も生産して自ら販売 【足久保ティーワークス茶農業協同組合（静岡市）】

■活用した事業

「茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業」を活用して様々な品種への改植を実施

■経営の概況

静岡市葵区足久保は静岡茶発祥地の地である。平成9年に足久保の茶農家約60人が集まって「足久保ティーワークス茶農業協同組合」を設立した。現在は約25名の組合員で茶工場を運営している。組合の常勤職員は3名である。

■取組内容

・品種の転換

現在の栽培品種は「やぶきた」がメインで85%を占めており、その他に「香駿」「さえみどり」など10以上の品種を栽培している。

茶樹の若返りを図るため、改植を進め、「やぶきた」から他の品種への転換を図り、様々な茶の生産を行っている。碾茶の生産も見据えた品種への改植も進めている。

・紅茶などの多様な茶の生産、販売

静岡茶発祥の地でもあり、組合としての生産の柱はあくまでも従来どおりの煎茶である。一方で新しい取組として多様な品種を活かした紅茶や萎凋煎茶の生産も行っており、組合の経営の1割程度を占めている。紅茶などについては、「はじまりの紅茶」ブランドを立ち上げ、ホームページを通じた販売やデパート等における催事への出展を行っている。また、工場に隣接する場所に直売店「はじまりの紅茶Terrace Cafe」を出店し、消費者への直接販売も行っている。さらに、SNSの活用や消費者参加型のイベント（お茶摘み体験、茶畑オーナー制度）も実施している。

ノウフクJASの認証を取得しており、ドリンクメーカーに出荷後、煎茶として販売されている。また、茶市場への出荷を行っている。



販売している「はじまりの紅茶」



「はじまりの紅茶」を販売する直売所



直売所前の茶園に設置されたテラス

（直売所で購入したドリンクを飲むこともできる）